

平成30年度 公益財団法人イヨボヤの里開発公社事業計画

平成30年度は、村上市において、自然、伝統文化、歴史的遺産、物産等の観光資源を有効に活用すること及び市民に交流の場を提供することにより、地域文化及び地場産業を基盤とした観光の振興並びに創造性豊かで活力ある地域社会の健全な発展に寄与することを目的とし、この目的を達成するため、地域社会の健全な発展を目的とした観光の振興、伝統文化や歴史的遺産など、教育・文化及び芸術の振興、地域社会の市民活性化事業等を実施します。

昨年4月より指定管理施設となった「縄文の里・朝日」については、1年間管理し、状況把握できたことから、30年度は更に公社の持つノウハウを活用して管理に努めることとします。

平成29年の秋以降「村上の鮭」がメディアで大いに盛り上がりました。また、平成30年には「村上祭の屋台行事」が国の重要無形民俗文化財に指定され、イヨボヤ会館やおしゃぎり会館を管理している当公社にとっては、大変喜ばしいことでありました。

平成30年からは、改めてこの重要な観光資源であり伝統文化及び歴史的遺産である「村上の鮭」と「村上祭の屋台行事」に注目し、職員一丸となって地域を盛り上げていきたいと考えてます。

さらに、観光客のさらなる誘客・集客強化を図り、お客さまの満足度向上に努めるとともに、公社の将来のあり方についても議論していきます。

◆ 公社の取組指標 ◆

【公社の共通目的】

地域プライド作り！	村上の魅力発信！	市民に愛される施設づくり！
<ul style="list-style-type: none">・地域の観光資源を掘り起こし、活用する・市民が誇れる地域となるよう取り組む・教育・文化・観光及び産業振興など	<ul style="list-style-type: none">・村上の魅力を公社及び施設から発信する・地域が活性化するよう取り組む・文化・観光及び産業振興など	<ul style="list-style-type: none">・市民がリピーターとなる施設づくりに取り組む・職員それぞれが磨きをかけ、公社が村上市にとってなくてはならない存在となるよう取り組む・教育や文化振興、ふれあい交流の促進など

1 公益目的事業

ア 「塩引き鮭」作りの体験事業

教育・文化及び芸術の振興を目的として、村上の伝統料理である「塩引き鮭」の技法を「越後村上三ノ丸流」として伝授し、鮭に関する食文化の伝承に努めます。

- ・「塩引き鮭」作りの体験事業（3, 373千円）

イ 助成事業

観光の振興を図るため、城下町村上らしい歴史的遺産である茅葺屋根の武家屋敷が現存するお城山周辺の旧武家町地区において、歴史的景観の保全及び意識啓発を行おうとする個人及び団体に対し、その経費の一部を助成します。

- ・歴史的景観の保全及び意識啓発助成（100千円）

ウ 施設及び公園の管理、自主事業

観光の振興を目的として、村上市の観光の目玉であるイヨボヤ会館・おしゃぎり会館をはじめ、市内にある観光資源を広く県内外に紹介宣伝し、お客様の誘客に努めます。また、村上市への観光客の受入体制を充実させるため、市内を観光案内する村上市観光ガイド会に助成します。

約5年間事務局を務めてきた越後むらかみ FOOD（風土）プライド食のモデル地域構築計画協議会は、村上市地産地消推進協議会と統合し、新協議会を設立する方向で作業を進めていることから、統合後の協議会に引き続き協力することとし、地域資源を活用し、観光振興に努めることとします。

30年度は、「鮭のごっつお」に代わる鮭料理本を2年かけて制作することとし、村上の鮭文化の伝承とともにPRに努めます。

さらに引き続き「村上なびっ人会」や村上市観光情報戦略会議に参加し、地域団体と連携して観光振興、情報発信に努めることとします。

- ・観光PR等（1, 143千円）

※越後むらかみ FOOD（風土）プライド食のモデル地域構築計画協議会が統合する新協議会への負担金（50千円）

※村上なびっ人会 会費（1千円）

※村上市観光情報戦略会議負担金（100千円）

- ・村上市観光ガイド会への助成（70千円）
- ・鳥居三十郎150回忌記念事業協賛金（10千円）※新規
- ・鮭料理本「(仮称)村上の鮭文化」の制作（800千円）※新規

1 イヨボヤ会館等

観光の振興、教育・文化及び芸術の振興、市民活性化を目的として施設を管理するほか、自主事業として、年に1回特別展を開催し、市民及び観光客に、地域の伝統文化等を紹介します。また、「種川」において種川水中生物探検隊として、種川に生息している生物を捕獲調査し、子供たちに地域の自然に関心をもってもらうよう取り組みます。30年度は、歴史的な観点から村上の鮭について理解を深めてもらうため、子供を対象とした鮭に関する勉強会を開催することとします。また、わくわく釣り体験を実施し、子供たちに楽しい釣りの機会を提供します。

イヨボヤ会館に隣接する鮭公園は、多くの市民や観光客に親しまれています。この鮭公園を市民のふれあいの場として管理するほか、観光の振興及び市民活性化を目的として、ホテルの里となるよう取り組みます。

三面川の伝統的な鮭漁である「居繰網漁（いぐりあみりょう）」を観光客に広く紹介します。

村上市を訪れるお客様に市内をゆっくり散策してもらうよう、自転車を貸出します。

- | | |
|-------------------|-------------|
| ・イヨボヤ会館管理運営受託事業 | (54, 270千円) |
| ・イヨボヤ会館自主事業 | (129千円) |
| ・イヨボヤ会館自主事業（募金事業） | (0千円) |
| ・鮭公園管理運営受託事業 | (2, 860千円) |
| ・三面川鮭居繰網漁のPR | (0千円) |
| ・レンタサイクル事業 | (81千円) |

2 おしゃぎり会館等

教育・文化及び芸術の振興として、記念公園（まいづる公園）内武家屋敷で開催している「十五夜月見の会（十五夜月見の会実行委員会主催）」へ助成します。

観光の振興、教育・文化及び芸術の振興、市民活性化を目的として管理するほか、自主事業として、おしゃぎり会館にて年2回程度特別展の開催、所蔵の歴史資料などをもとにした歴史講座を開催します。また、若林家

住宅では、小学生を対象としたこども豆まき大会、庭園を利用した村上茶普及事業を開催します。武家屋敷では、武家社会の「元服」を体験していただくため、立志式を開催します。さらに、自主事業等の協力募金を実施し、募金いただいた方にコーヒーや玉こんにゃくを提供します。

「おしゃぎりサポーターズ倶楽部」として、おしゃぎり会館や隣接の若林家住宅、村上歴史文化館などを利用したイベントの参加を通じて、村上の歴史・文化・伝統・民俗などに関する知識を深めるとともに、相互の教養と親睦を深めることを主たる目的とした友の会を運営します。

教育・文化及び芸術の振興を目的として、国及び村上市指定文化財である若林家住宅・旧成田家住宅・旧嵩岡家住宅・旧岩間家住宅・旧藤井家住宅の各武家住宅の茅葺屋根について、その維持保存を目的とした募金活動を行います。

国の重要無形民俗文化財に指定された「村上祭の屋台行事」を積極的にPRし、誘客に努めます。

- ・武家屋敷十五夜月見の会実行委員会への助成と運営協力 (50千円)
- ・おしゃぎり会館(郷土資料館)等管理運営受託事業 (30,444千円)
- ・三の丸記念館管理運営受託事業 (437千円)
- ・若林家住宅等管理運営受託事業 (5,461千円)
- ・旧成田家住宅管理運営受託事業 (937千円)
- ・公園内武家屋敷管理運営受託事業 (5,288千円)
- ・記念公園(まいづる公園)管理運営受託事業 (1,961千円)
- ・村上歴史文化館管理運営受託事業 (6,632千円)
- ・縄文の里・朝日管理運営受託事業 (22,206千円)
- ・おしゃぎり会館事業 (233千円)
- ・おしゃぎり会館事業(募金事業) (289千円)
- ※募金いただいた方に、コーヒー・玉こんにゃく・
竹の子や露の缶づめ・ハガキ・松ぼっくり炭等を提供
- ・縄文の里・朝日事業 (170千円)
- ・「おしゃぎり会館サポーターズ倶楽部」の運営 (15千円)
- ・文化財愛護事業 (0千円)

2 収益事業

1) オリジナルグッズ等の製造・販売事業

村上市の伝統料理である塩引き鮭のオリジナルマスコットや鮭ストラップ等の販売のほか、オリジナルグッズ「ふかのすけ」等を販売します。

また、「塩引き鮭」及び「酒びたし」などの製造、販売を行います。

さらに、市内の業者や団体、個人などから村上市の特産品や書籍等を受託販売します。

- ・オリジナルグッズ（「塩引きクン」「みおもて遡さん」等）の販売 (81千円)
- ・オリジナルグッズ（「ふかのすけ」等）の販売 (11千円)
- ・ストロー細工及び作り方 DVD 製作・販売 (8千円)
- ・塩引き作りの手順 DVD 製作・販売 (5千円)
- ・「塩引き鮭」の製造・販売 (840千円)
- ・「塩引き鮭」の製造・販売（年末大販売会分） (303千円)
- ・「酒びたし」の製造・販売 (605千円)
- ・特産品や書籍などの受託販売 (8千円)

2) 施設の管理事業

ア 施設の管理事業

村上市民ふれあいセンターの管理及び自主事業を行います。

三の丸記念館の貸与事業において、文化芸術活動以外で会館を使用する利用者から使用料を徴収します。

縄文の里・朝日の館内にある食堂及び売店の運営を行います。

- ・ふれあいセンター事業 (168千円)
- ・村上市民ふれあいセンター管理運営受託事業 (68,765千円)
- ・三の丸記念館管理運営受託事業 (0千円)
- ・縄文の里・朝日管理運営受託事業（食堂・売店） (2,629千円)

イ 施設管理に付帯する事業

施設利用者に対する利便性を図るため、村上市民ふれあいセンター等で実施されるコンサートなどのチケットの受託販売、友の会「ふれセン倶楽部」の

運営などを行います。

- ・コンサートチケットの受託販売 (1千円)
- ・喫茶提供事業 (15千円)
- ・「ふれセン倶楽部」の運営 (182千円)
- ・看板制作代行等 (208千円)